



平成29年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社トスネット

上場取引所 東

コード番号 4754 URL <http://www.tosnet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 氏家 仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務統轄部長 (氏名) 朽木 雄二

TEL 022-299-5761

四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	7,345	4.2	581	2.3	633	1.1	412	△1.5
28年9月期第3四半期	7,046	0.2	568	4.7	626	1.2	418	16.2

(注)包括利益 29年9月期第3四半期 431百万円 (22.7%) 28年9月期第3四半期 351百万円 (△10.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	87.22	—
28年9月期第3四半期	88.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	7,302	4,621	63.3
28年9月期	6,797	4,309	63.4

(参考)自己資本 29年9月期第3四半期 4,621百万円 28年9月期 4,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	0.00	25.00	25.00
29年9月期	—	0.00	0.00		
29年9月期(予想)				25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,830	2.7	910	2.5	980	1.6	640	2.0	135.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期3Q	4,732,600 株	28年9月期	4,732,600 株
② 期末自己株式数	29年9月期3Q	2,443 株	28年9月期	2,443 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期3Q	4,730,157 株	28年9月期3Q	4,730,157 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益及び雇用・所得の環境は横這いからやや下降の様相を呈しており、大企業の夏季賞与の平均額も前年対比でマイナスになるなどしておりますが、経済全体においては、緩やかな景気の回復基調が続いております。

当警備業界におきましては、警備サービスに対する社会的なニーズは底堅いものがあるものの、人手不足や同業他社との受注競争の激化や警備品質確保のためのコストアップなどの要因等を抱え、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは主力の交通誘導警備、雑踏警備、施設警備及び列車見張り警備の受注拡大等、当社グループの中核となる事業の展開を図り、業容の拡大と収益力の強化に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は7,345百万円（前年同四半期比4.2%増）、営業利益は581百万円（前年同四半期比2.3%増）、経常利益は633百万円（前年同四半期比1.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は412百万円（前年同四半期比1.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(警備事業)

警備事業は、交通誘導警備、施設警備、列車見張り警備等を行っております。警備事業の売上高は6,293百万円（前年同四半期比4.1%増）、セグメント利益は226百万円（前年同四半期比9.7%増）となりました。警備事業の業務別売上高の状況は以下のとおりです。

① 交通誘導警備

交通誘導警備につきましては、警備業者間の価格競争は依然として厳しい状況にありますが、震災復興関連事業等への対応及びイベント警備、駐車場警備等へ積極的に取り組み、当部門の売上高は3,944百万円（前年同四半期比0.5%増）となりました。

② 施設警備

施設警備につきましては、当社グループの重要商品と位置づけ、首都圏を中心に積極的に拡大を図っており、当部門の売上高は1,768百万円（前年同四半期比4.7%増）となりました。

③ 列車見張り警備

列車見張り警備につきましては、比較的利益率が高いことから当社グループの注力商品の一つと位置づけており、当部門の売上高は421百万円（前年同四半期比2.4%増）となりました。

(ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業は、ビルメンテナンス、清掃業務及び人材派遣等を行っております。ビルメンテナンス事業の売上高は140百万円（前年同四半期比1.5%減）、セグメント利益1百万円（前年同四半期は1百万円の損失）となりました。

(メーリングサービス事業)

メーリングサービス事業は、メール便発送取次業務、販促品・サンプル等の封入・梱包及び発送取次業務等を行っております。メーリングサービス事業の売上高は470百万円（前年同四半期比4.5%増）、セグメント利益は10百万円（前年同四半期比159.9%増）となりました。

(電源供給事業)

電源供給事業は、各種イベント及びコンサート関連の仮設電源の提供・テレビ局関係の中継のバックアップ等各種電源需要への電源提供業務を行っております。電源供給事業の売上高は441百万円（前年同四半期比8.1%増）、セグメント利益は23百万円（前年同四半期比39.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ505百万円増加し、7,302百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が150百万円増加、土地を259百万円で取得したこと等によるものであります。

負債は前連結会計年度末と比べ192百万円増加し、2,680百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が286百万円増加したこと等によるものであります。純資産は、前連結会計年度末と比べ312百万円増加し、4,621百万円

となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益として412百万円計上したことにより、利益剰余金が294百万円増加したこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は63.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の連結業績予想につきましては、平成28年11月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,863,407	3,013,458
受取手形及び売掛金	197,679	187,807
警備未収入金	986,295	976,198
仕掛品	—	297
原材料及び貯蔵品	35,765	37,636
繰延税金資産	39,674	46,745
その他	85,638	113,925
貸倒引当金	△2,316	△1,709
流動資産合計	4,206,142	4,374,359
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	330,050	367,769
土地	1,041,292	1,300,331
その他	155,552	173,901
有形固定資産合計	1,526,895	1,842,001
無形固定資産		
のれん	428,634	432,977
その他	35,884	32,904
無形固定資産合計	464,518	465,882
投資その他の資産		
投資有価証券	398,814	391,120
投資建物(純額)	5,515	5,307
投資土地	72,085	72,085
会員権	3,187	3,187
繰延税金資産	32,485	31,197
その他	98,398	129,975
貸倒引当金	△13,159	△13,218
投資その他の資産合計	597,326	619,654
固定資産合計	2,588,741	2,927,538
繰延資産		
株式交付費	1,886	471
創立費	243	152
繰延資産合計	2,130	623
資産合計	6,797,013	7,302,521

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	660,000	510,000
1年内返済予定の長期借入金	64,298	121,439
未払法人税等	173,400	81,100
未払消費税等	116,975	119,536
未払費用	568,211	596,316
賞与引当金	71,730	115,255
その他	189,933	215,064
流動負債合計	1,844,548	1,758,710
固定負債		
長期借入金	382,248	668,876
退職給付に係る負債	219,828	219,507
繰延税金負債	67	662
その他	41,318	32,988
固定負債合計	643,463	922,035
負債合計	2,488,011	2,680,746
純資産の部		
株主資本		
資本金	782,930	782,930
資本剰余金	766,550	766,550
利益剰余金	2,690,428	2,984,720
自己株式	△711	△711
株主資本合計	4,239,196	4,533,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86,721	101,477
退職給付に係る調整累計額	△16,916	△13,191
その他の包括利益累計額合計	69,805	88,286
純資産合計	4,309,002	4,621,775
負債純資産合計	6,797,013	7,302,521

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	7,046,570	7,345,951
売上原価	4,750,215	4,962,776
売上総利益	2,296,355	2,383,175
販売費及び一般管理費	1,728,081	1,801,615
営業利益	568,274	581,560
営業外収益		
助成金収入	15,828	16,125
受取賃貸料	19,920	21,359
受取出向料	8,010	4,236
投資有価証券運用益	7,739	158
その他	20,229	20,901
営業外収益合計	71,727	62,780
営業外費用		
支払利息	6,966	6,371
投資有価証券運用損	406	—
その他	5,852	4,149
営業外費用合計	13,225	10,521
経常利益	626,775	633,819
特別利益		
投資有価証券売却益	48,378	41,253
固定資産売却益	18,292	168
特別利益合計	66,671	41,422
特別損失		
固定資産除却損	255	163
固定資産売却損	7,295	—
投資有価証券評価損	280	19
特別損失合計	7,831	183
税金等調整前四半期純利益	685,615	675,059
法人税、住民税及び事業税	271,184	275,721
法人税等調整額	△4,516	△13,209
法人税等合計	266,667	262,511
四半期純利益	418,947	412,547
親会社株主に帰属する四半期純利益	418,947	412,547

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	418,947	412,547
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70,185	14,756
退職給付に係る調整額	2,473	3,724
その他の包括利益合計	△67,712	18,480
四半期包括利益	351,235	431,027
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	351,235	431,027

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合 計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
外部顧客への売上高	6,045,828	142,196	450,023	408,521	7,046,570
セグメント間の内部売上高又は振替高	127,861	8,454	—	834	137,150
計	6,173,689	150,650	450,023	409,356	7,183,720
セグメント利益又は損失(△)	206,634	△1,400	3,968	39,613	248,816

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	248,816
セグメント間取引消去	319,457
四半期連結損益計算書の営業利益	568,274

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
外部顧客への売上高	6,293,835	140,052	470,407	441,656	7,345,951
セグメント間の内部売上高又は振替高	136,092	8,669	—	3,121	147,883
計	6,429,928	148,722	470,407	444,777	7,493,835
セグメント利益又は損失(△)	226,807	1,561	10,317	23,901	262,587

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	262,587
セグメント間取引消去	318,973
四半期連結損益計算書の営業利益	581,560

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。